

老人保健施設事業事務局

要求額

(単位：千円、%)

| 会計名 | 令和元年度 当初予算額 | 令和2年度 当初予算要求額 | 増減額 | 増減率 |
|------------|----------------|------------------|-------|-----|
| 老人保健施設事業会計 | 504,000 | 510,224 | 6,224 | 1.2 |

主な増減理由

- ・リハビリ体制の強化並びに居宅介護支援事業の充実による収益の増 8,043千円
- ・備品購入費の減 △1,776千円

予算要求にあたっての基本的な考え方

- 利用者数は 83.5人（稼働率99.4%）、通所は 9人（稼働率 90%）を見込む
- 超強化型施設（在宅復帰支援・在宅療養支援施設）として、リハビリテーションの充実を図り、利用者の介護サービスの向上および介護者の介護軽減を行う。

予算要求の重点事項

- 超強化型施設（在宅復帰支援・在宅療養支援施設）を維持
- 施設、設備の更新
 - ・在宅復帰支援：
在宅生活において、身体機能または認知機能の低下がみられる方や、病院を退院後、在宅復帰が困難である方に対し、身体機能及び認知機能の向上を図る。
 - ・在宅療養支援：
居宅サービス（通所サービス・短期入所サービス）を利用することにより、利用者の在宅での身体機能の維持と生活支援を行う。
 - ・在宅介護者の介護負担の軽減を図る。
 - ・機器等が老朽化しているため必要な設備・備品の更新を行う。